

Release Notes—KONA version 7.5

対応製品：KONA 3/LHe/LHi/LSe、io Express

全般

以前に、他社のビデオキャプチャカードまたはドライバをインストールしたことのあるコンピュータに、KONAやio Expressをインストールする場合は、インストールを行う前に、KONA/io Expressソフトウェアに付属する「AJA Conflict Checker」を使用してください。「AJA Conflict Checker」は新しいドライバをインストールするにあたって取り除く必要がある古いドライバやソフトウェアファイルを特定するのに役立ちます。また、初めてKONAカードを使う場合は、Read Me First書類、ユーザマニュアルを必ず確認してください。

重要な記載事項—必ずお読みください

- ・ KONA version 7.5ドライバは、Final Cut Studio (2009)またはFinal Cut Studio 2に対応していますが、Final Cut Studio 2ではすべての機能をご利用頂けません。各バージョンがサポートするFinal Cut Proのバージョンは次の通りです。

FCP 7～6.0.x - Kona ソフトウェア バージョン 7.5 (Snow Leopard 及びLeopard OS対応)

FCP 7～6.0.x - Kona ソフトウェア バージョン 6.5 (Leopard, OS対応)

FCP 6.0.x - Kona ソフトウェア バージョン 6.0.3 (Leopard, Tiger OS対応)

- ・ 以前のバージョンから引き継いだ簡易セットアップがFinal Cut Pro 7で正しく機能しない場合がありますのでご注意ください。
- ・ AJAは、KONAシリーズの各ボードに対して専用のドライバソフトウェアを提供しています。誤ったドライバソフトウェアをインストールするとKONAコントロールパネルに「No Board」という警告が表示されます。使用するKONAカードに対して正しいドライバソフトウェアがインストールされているかどうかをご確認ください。
- ・ 以前のバージョンのドライバソフトウェアを使用しなければならない場合は、次の手順に従って現在使用中のドライバソフトウェアをアンインストールする必要があります。新しいバージョンの上に古いバージョンのドライバをインストールすることはしないでください。
 1. KONA Uninstallerを起動し、実行します。
 2. その後、望ましいKONAソフトウェアをインストールしてください。

注：万が一、バージョン7.5ソフトウェアをインストールした後に、Final Cut ProがQuartz Extremeのエラーによって起動しない場合は、AJA Control Panelアプリケーションの“Setup”タブにある“Enable Desktop Display”のチェックを外してからMacintoshを再起動してください。

また、ドライバをインストールした後に、Macが起動しなくなった場合は、セーフブート（Shiftキーをおしながら起動）後にドライバをアンインストールし、NDD版のドライバをご使用ください。NDD版ドライバをインストールした場合、Macintosh Desktop Display機能はご利用頂けません。

新機能

- ・ HDCAM SRの倍速インジェストに対応 (KONA 3) ※オプションを搭載した一部のHDCAM SRデッキのみ
- ・ Macintosh Desktop Display機能をサポート (KONA LHi) ※NDDドライバは非対応
- ・ タイムラプス・キャプチャに対応 (ALL)
- ・ Dual Link SDIでのVPID出力に対応 (KONA 3)
- ・ 1080i/PsF/Pでの10bit RGB出力に対応 (KONA 3)
- ・ Apple ProRes 4444 RGBに対応 (KONA 3)
- ・ IMX30/IMX40コーデックをサポート (ALL)
- ・ 720p23.98への対応を追加 (KONA LHi)
- ・ 複数のAJA製品の同時使用に対応 (ALL) ※詳細は「複数のAJA製品の同時使用について」を参照
- ・ AJA TVアプリケーションにバックグラウンド再生オプションを追加
- ・ AJA Data Rate Calculator アプリケーションが新しいコーデックに対応 (XDCAM、DNxHD、CineForm、REDCODE、Apple Intermediate、16bit 非圧縮、および4K)

改良と修正点

- ・ ダウンコンバート入力の改善 (KONA LHi)
- ・ Final Cut Pro以外のQuickTimeアプリケーションでのA/V同期を改善 (ALL)
- ・ アンインストーラーの挙動を改善 (ALL)
- ・ AJA TVでタイムコードを含まないQuickTimeファイルを再生した場合のタイムコード表示を改善 (ALL)
- ・ HDMIからの入力フォーマットの検出性能を改善 (KONA LHi)
- ・ Harris製リーガライザーを使用した場合の挙動を改善 (ALL)
- ・ Apple ColorとFinal Cut Pro間でのクリップ移動に関する問題を解消 (ALL)

Mac本体の推奨設定

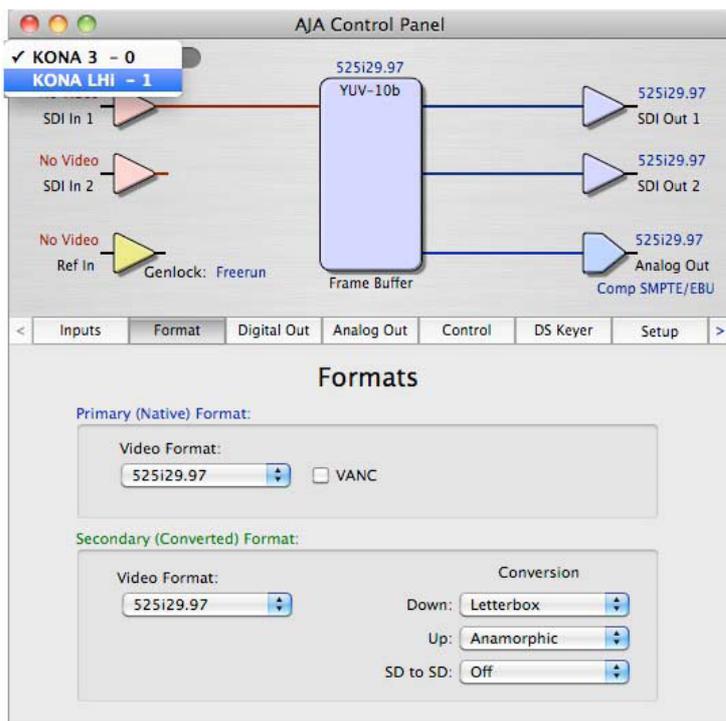
Mac本体のPCIスロットに関する設定は、下記のページを参照してください。

<http://www.aja-jp.com/support-kona-rec-sys.html>

複数のAJA製品の同時使用について

バージョン7.5ドライバから、KONAやIo HD、Io Expressなど、複数のAJA製品を一台のホストコンピュータ上で使用することが可能になりました。

AJA Control Panelを使用して、アプリケーション毎にどのインストールされたAJAデバイスを入出力として使用するか選択することが可能です。複数のAJAハードウェアのドライバをインストールしてある場合、AJA Control Panelの左上に、“Kona3 - 0”のようにデバイスの名称がプルダウンリストに表示されます。（1種類のハードウェアドライバしかインストールされていない場合は、製品名が表示されないか、プルダウンリストが現れません）ターゲットにするデバイスを選択するには、このプルダウンリストから表示されているのAJA製品をクリックしてください。



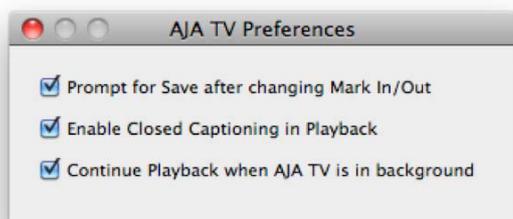
Final Cut ProやAJA TVなどのアプリケーションを起動すると、その時にAJA Control Panel上で選択されている製品がそのアプリケーションの入出力デバイスとして使用されます。

アプリケーション起動後は、AJA Control Panelでターゲットデバイスを変更しても、アプリケーションが実行されているかぎりには起動時に選択されていたハードウェアへの接続を保持し続けます。ターゲットデバイスを変更した後に別のアプリケーションを立ち上げると、そのアプリケーションは新しいデバイスを入出力として使用し、最初に起動したアプリケーションが選択したデバイスとは別のハードウェアを使用することが可能です。

例：AJA Control PanelでターゲットデバイスをKONA 3に設定してください。その後、Final Cut Proを起動すると、Final Cut Proは入出力デバイスとしてKONA 3を使用

します。AJA Control Panelに切替え、ターゲットデバイスをKONA LHiに変更します。その後、AJA TVを起動すると、AJA TVはKONA LHiを出力デバイスとして使用するよう設定されます。再びFinal Cut Proに切替えると、Final Cut ProはKONA 3を入出力デバイスとして使用し続けていることに注意してください。

AJA TVのようないくつかのアプリケーションでは、バックグラウンドでの再生出力機能が提供されているので、アプリケーションの切替えと共にターゲットデバイスが変更されても、バックグラウンドでの再生出力が維持されます。このような場合、単一のシステム内でAJAデバイスからの出力をもう一方のAJAデバイスに出力を供給する事が可能です。



AJA TVにバックグラウンド再生オプションが追加されました。“Continue Playback when AJA TV is in background”のチェックボックスをチェックします。

複数のAJA製品を同時使用する場合の注意点

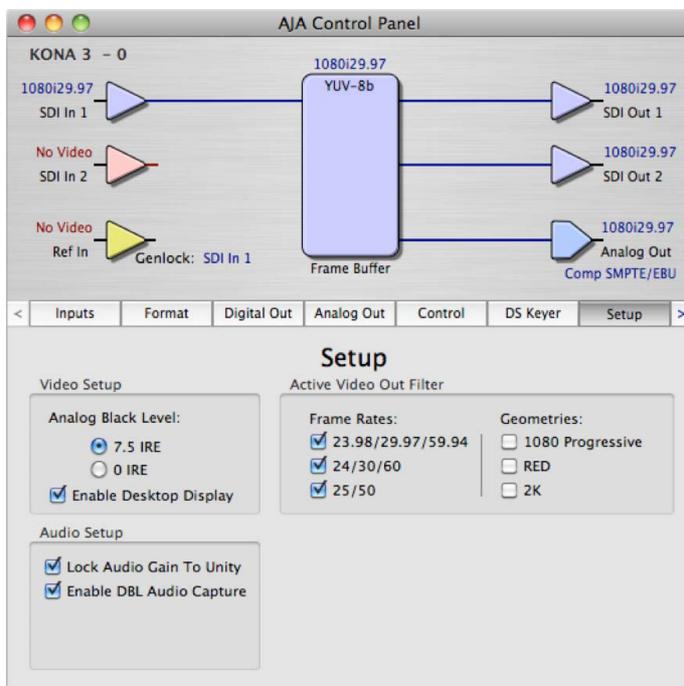
複数のAJA製品を同時使用する場合のビデオストリーム数などのパフォーマンスは、CPUの処理能力やメモリ、ストレージの速度やバンド幅など、システムの様々な仕様に依存します。また、この使用方法を前提としているソフトウェアでのみサポートされます。

※10 HDはFireWireの帯域の制限によって、一つのバスに一台しか接続することはできません。

KONA 3とSony HDCAM SRを使用した倍速転送について

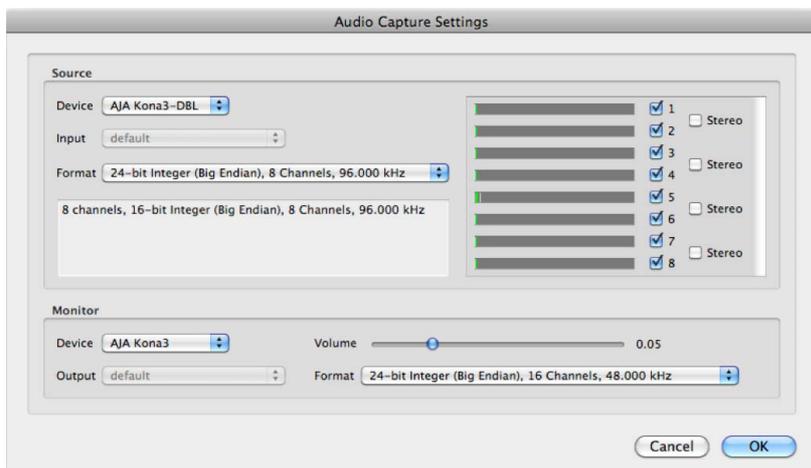
適切なオプションが追加されたHDCAM SRデッキ（例えばSony SRW-5800とHKSR-5803HQ）とKONA3を使用した場合、倍速で素材を取り込む事が可能になります。

この機能を使用するには、以下の特別な設定が必要です。KONA 3ドライバ7.5以降に加えて、AJA VTR Xchange v4.1を用意してください。このソフトウェアはAJAのサイトから無償でダウンロードが可能です。



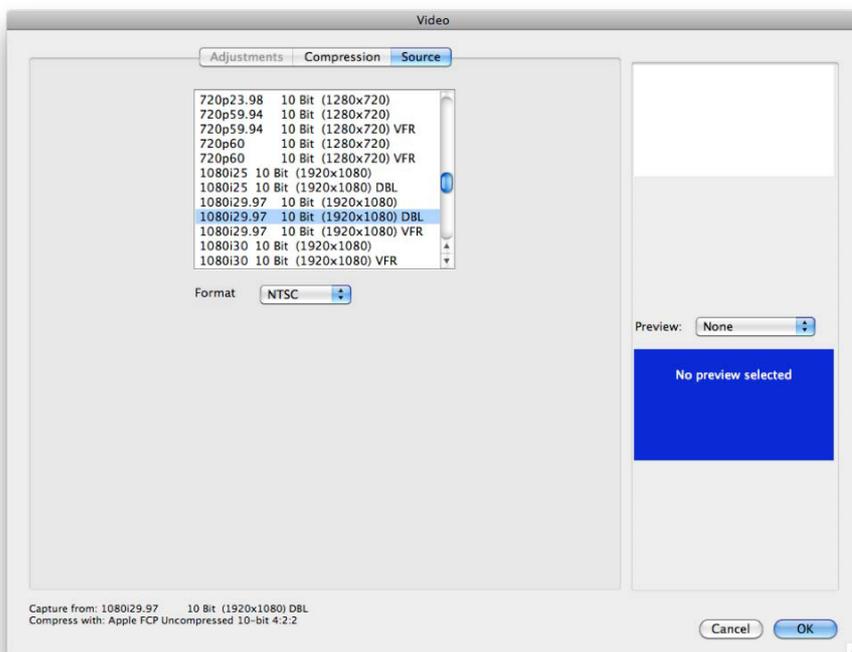
正しく2倍速でのオーディオ転送を行うには、AJA Control Panelの“Setup”タブ内にある“Enable DBL Audio Capture”にチェックを入れる必要があります。

AJA VTR XchangeアプリケーションのAudio Capture SettingsにあるDeviceプルダウンリストから、“AJA Kona3-DBL”を選択します。



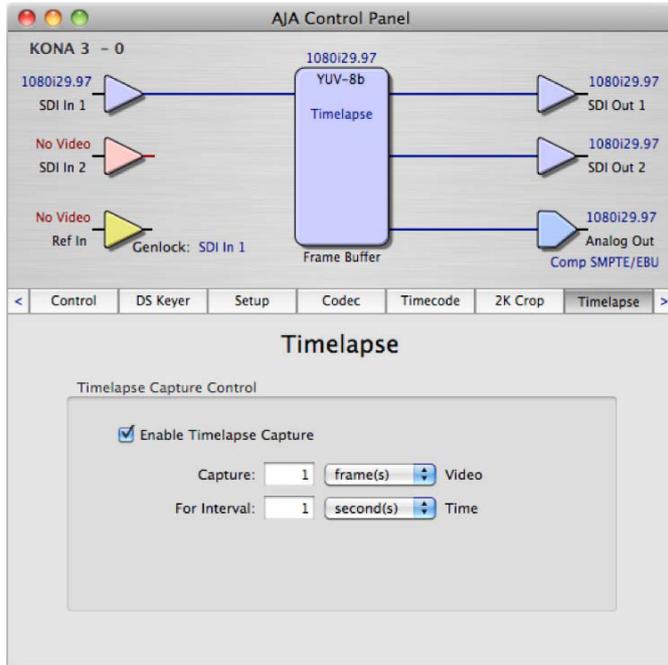
注：AJA VTR Xchangeアプリケーションで“AJA Kona3-DBL”を選択したままアプリケーションを終了した場合、KONA 3システムのサンプルレートが96kHzに設定されたままになります。これは、AJA Control Panelの“Input”タブ内にある“Audio Sample Rate”プルダウンリストを使って再設定する必要があります。

AJA VTR XchangeのVideo Settingsで、倍速インジェストに最適なビデオ入力とフォーマットとフレームレートを設定します。入力ソースに“DBL”が追加されたフォーマットが選択されている事に注意してください。



倍速インジェストを使用しない場合には、AJA Control Panelの“Enable DBL Audio Capture” チェックを外しておいてください。これは、KONAドライバが2つオーディオエンジンを作成し、複数のオーディオデバイスとして認識されることによって起こる弊害を防ぐためです。

タイムラプス機能（インターバルキャプチャ）の使用法



KONA、Io HD、Io Express version 7.5ドライバから、タイムラプス機能が追加されました。AJA Control Panelには“Timelapse”タブが追加されています。

タイムラプス機能を使うには、“Timelapse”タブにある“Enable Timelapse Capture”をチェックする必要があります。この機能は、すべてのQuickTimeキャプチャアプリケーション（Final Cut ProやVTR Xchange等）で使用可能です。“Capture”（一回のキャプチャの長さ）と“For Interval”（キャプチャ開始から次のキャプチャ開始までの間隔）のパラメータを設定してください。

Final Cut Proなどのキャプチャアプリケーションを起動して、最終的に生成したいビデオフォーマットに応じた簡易セットアップを選択してください。アプリケーション内では、これ以外に特別な設定を行う必要はありません。タイムラプス機能は、簡易セットアップで指定されたフォーマット

とフレームレートのQuickTimeファイルを生成します。結果として、追加レンダリングを行うことなくタイムラプスクリップを使用することができます。

タイムラプス機能のパラメータ、“For Interval”はキャプチャ開始から次のキャプチャ開始までの間隔です。そのため、“Capture”のパラメータを“For Interval”より大きく設定することはできません。

KONA 3ファームウェアアップデート

KONA version 7.1をインストールする場合、KONA 3ボードのファームウェアをアップデートする必要があります。

※すでにKONA 3旧バージョンソフトウェアによってファームウェアのアップデートを行っている場合でも、最新のファームウェアにアップデートする事を推奨します。

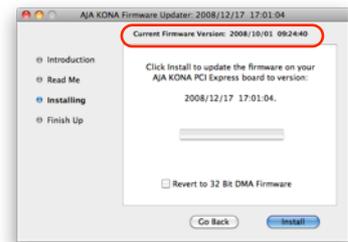
以下の手順に従ってファームウェアのアップデートを行ってください。

【手順】

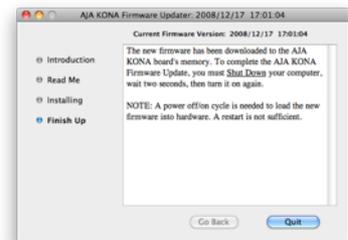
1. ドライバソフトウェアのインストールが成功したら / アプリケーション / AJA Utilitiesフォルダ内にある“AJA KONA Firmware Updater”アプリケーションを起動してください。
2. 起動後に“Continue”ボタンを数回押してアップデートの作業を続けます。



3. 右図の罫欄に、現在のファームウェアバージョンが表示されたら "Install" ボタンを押してファームウェアのアップデートを行います。



4. ファームウェアのインストールが完了したら、"Quitボタン"を押し、アップデートを終了させます。その後、Mac Pro本体をシステム終了させ、電源をOFFにします。



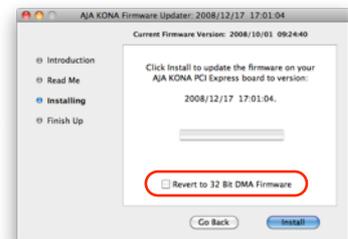
5. 電源がOFFになったことを確認し、5秒ほど待ってから電源を入れ起動させます。

Note：再起動を選択しただけでは、新しいファームウェアがロードされません。必ずシステム終了させる必要があります。

重要：アップデート中はMac Pro本体の電源を落とさないでください。また、アップデートプロセスが開始した後にアップデートを終了しないでください。

以前のファームウェアに復帰する場合

KONAソフトウェアをバージョン6.0より前のものに戻す必要がある場合には、KONA 3のファームウェアも32bitファームウェアに戻さなければなりません。32bitファームウェアに戻すには、「AJA KONA Firmware Updater」アプリケーションを使用して、「KONA 3ファームウェアアップデート：手順3」まで進んでください。ファームウェアのバージョンが表示されている画面で、「Revert to 32 Bit DMA Firmware」チェックボックスにチェックを入れ「Install」ボタンを押します。その後は、アップデート後の手順と同じく、Mac Pro本体を終了し、数秒後にシステムを起動してください。



KONA LHi / lo Expressファームウェアアップデート

KONA LHi/lo Expressソフトウェアは、ドライバと同時にファームウェアアップデートを「/アプリケーション/AJA Utilitiesフォルダ」にインストールします。このアップデートは、Macが起動する際に自動でドライバとファームウェアを比較し、バージョンが不一致の場合は自動的にファームウェアアップデートが起動してアップデートを促します。ファームウェアアップデートが自動で起動した場合は、ファームウェアのアップデートを行うことをお勧めします。

※ファームウェアアップデートは起動プロセスの早い時期に処理を行うため、Finderなどのウィンドウに隠されてしまい、ファームウェアアップデートの表示が見えなくなる場合があります。この問題を回避するため、ドライバーのインストールを行った場合は、再起動の前に全てのウィンドウを閉じておくことをお勧めします。

ファームウェアのアップデートを行う場合は、以下の手順に従ってください。

【手順】

1. KONA ソフトウェア/lo Expressソフトウェアのインストールが成功したら、/アプリケーション/AJA Utilities フォルダ内にある「AJA KONA Firmware Updater」アプリケーションを確認し、起動してください。ファームウェアアップデートが起動すると、右図のような画面が表示されます。



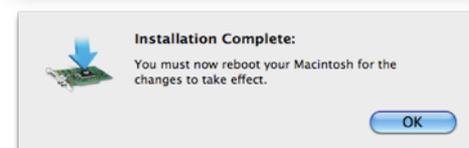
2. チェックボックスにチェックが入っているかを確認してください。チェックが入っている場合は、ボードのファームウェアが古いのでアップデートが実行されます。チェックが入っていない場合はアップデートされません。

3. Update Firmwareボタンを押すと、右図のようなダイアログが表示されます。内容を確認後にContinue Updateボタンを押してください。



ダイアログの内容：“ファームウェアのアップデートには約45秒の時間を要します。アップデートが完了する前に作業を中断することは、KONA LHi/lo Expressが故障の原因になります。中断してしまった場合は、カードをセーフブートモードで起動させ、再度ファームウェアアップデート作業を行う必要があります。”

4. アップデータがKONA LHi/lo Expressにファームウェアのダウンロードを開始すると、進捗状況をアップデートスクリーンに表示します。全てのファイルのダウンロードが完了すると、ステータス欄に「Success」と表示され、Installation Completeのダイアログとともにアップデート作業が完了します。OKボタンを押した後、Macを再起動してください。



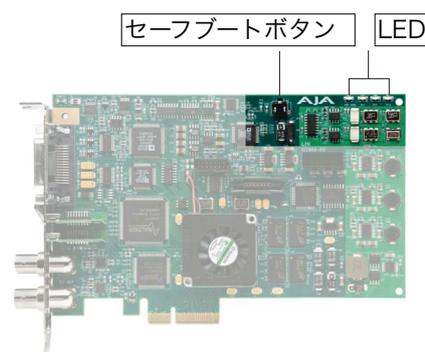
重要：アップデート中はMacの電源を落とさないでください。また、アップデートプロセスが開始した後にアップデートを終了しないでください。

KONA LHi のセーフブート手順

ファームウェアのアップデート中に停電やその他の事故によって処理が中断された場合、KONA LHi が正常に使用出来なくなる可能性があります。その場合、以下の手順にしたがってKONA LHi を正常な状態に戻す必要があります。

【手順】

1. Macの電源を落とし、Mac側面のパネルを外して内部が見えるようにしてください。
2. Mac内部のKONA LHi カードを確認してください。（取り外す必要はありません）
3. 右の写真を参考にセーフブートボタンを確認してください。



4. セーフブートボタンを押しながら、Macの電源を入れてください。
5. 赤と緑のLEDが両方とも点灯するまでセーフブートボタンを押し続けてください。
6. 手を放し、Macが完全に起動するまで待ちます。
7. /アプリケーション/AJA Utilitiesフォルダの中にあるAJA KonaUpdaterを起動し、前述の「ファームウェアのアップデート」手順にしたがってアップデートを実行してください。